

安全とにぎわいを願い 河野で一斉海開き

7月8日河野地区3つの海水浴場が一斉に海開きし、シーズン中の海水浴客の安全を祈願する式典が河野海水浴場で行われました。式には、川野助役ら40人が出席して神事が行われ、南敏廣河野観光協会長が「南越前町が誕生して初めて迎える海水浴シーズン。癒しと憩いの場として多くの人に訪れてほしい」とあいさつ。関係者らが花束を海に捧げたあと、河野保育園の園児ら15人が「ぼくたち私たちは河野の海が大好きです。きれいな海を残したいです」と願いを込め、色とりどりの風船を真っ青な空に向かって飛ばしました。



新盆に向け “誠蓮” 関東方面へ初出荷

堂宮、金粕、上野の11戸の蓮生産農家で、7月10日早朝4時から誠蓮の刈り取り作業が行われました。農家の人たちは「7月の刈り取りは葉っぱや花の背が低いので田んぼが歩きやすい。花は例年より少なめかな」と花を傷めないように一本一本丁寧に鎌で刈りました。

刈り取った花は大きさごとに3種類に選別。20本ずつ束ねて箱詰めし、約4万本が関東方面に出荷



されました。花蓮生産組合の岩崎義雄会長は「今年は気温が低い時があったせいか、初出荷量は少なめ。どの農家も田んぼの中をくまなく歩いての出荷になりました。その分8月3日からの旧盆に向けての関西方面への出荷には花が多くありそう」と話していました。



腕前を披露 町文化協議会南条地区発表会

7月17日、南条文化会館で町文化協議会南条地区発表会が開催されました。

ロビーなどでは、水墨画や写真、書道、陶芸、花はす俳句展等の展示などが行われたほか、2階では美術愛好会会員や町民囲碁同好会会員が集まり、自慢の品や腕を



披露して楽しみました。

午後からは、大正琴や詩吟、吟舞、民謡、三味線、日舞などの舞台発表があり、日頃の練習の成果を發揮して、観客から拍手が沸いていました。



ヘルシーなお菓子蓮の氷室まんじゅう 山海里料理コンテスト はず部門

山海里コンテストの第2弾、はず料理コンテストが6月26日行われ、町内外から6組が工夫を凝らしたはず料理に挑戦、その結果最優秀賞に清水あす香さん(福井市)の「蓮の氷室まんじゅう」、特別賞に志水美知代さん(高浜町)の「れんこんのたたき揚げ」が選ばれました。

清水さんは「お菓子が大好き。でもつつい食べ過ぎて太ってしまうので、蓮を使った涼しげでヘルシーなお菓子があったらと思い、試作し料理コンテストに挑戦しました。つるりとした口当たりと、れんこんのシャキシャキ感がアクセント。作り方も簡単です」と受賞を喜んでいました。特別賞には「れんこんのたたき揚げ」が選ばれ、はずまつりのオープン式に特別賞が振舞われました。



▲特別賞「れんこんのたたき揚げ」

まちの話題



初期消火が大事!

自警消防隊小型動力ポンプ操法大会 女性消火技術指導会

南条地区の自警消防隊による小型動力ポンプ操法大会が、7月3日南越消防組合南消防署で行われました。参加した14チームの自警消防隊は、どのチームも何度も練習して大会に臨み、培ってきた技術を披露しました。また、17日には今庄地区でも行われ、7チーム(女性1チームを含む)が参加しました。結果は次のとおりです。

南条地区 1位 桜町A 2位 大道B 3位 関ヶ鼻
今庄地区 1位 小倉谷 2位 馬上免 3位 八 飯



また、同大会では女性消火技術指導会も行われ、南条地区では9チーム、今庄地区は5チームが参加。初期消火の大切さを心がけ技術を身につけようと、参加者らは熱心に取り組んでいました。

